
平成20年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成20年3月5日

質問者（質問順）

- 1 田中紳一 委員（民ヨコ）
- 2 大山正治 委員（民ヨコ）
- 3 中島文雄 委員（共産党）
- 4 渋谷健 委員（自民党）
- 5 谷地伸次 委員（民主党）
- 6 木村久義 委員（公明党）

病院経営局

局 別 審 査

1 田 中 紳 一 委 員 (民 ヨ コ)

1 平成20年度予算編成と経営改革計画について

- (1) 平成20年度予算編成にあたっての基本的な考え方はどうか。
- (2) 経営改革計画の進捗状況はどうなっているのか。
- (3) これまでの取組をどのように評価しているのか。また、平成20年度はどのように取り組まれるのか。

2 医療安全管理の取組について

- (1) 市民病院においては、医療安全管理に向けて様々な取組がされているようだが、これまでの取組、改善策、効果はどのようなものか。
 - (2) これまで病院経営局では、医療安全管理についてどのように取り組んできたのか。
 - (3) 平成20年度の医療安全管理体制について伺いたい。
- (要望) 医療事故の回避に関しては、病院経営の根幹との認識の下、総力をあげて取り組んでいただくことを強く要望する。

3 局本部と病院管理部門の一体化について

- (1) 局本部と病院管理部門の一体化の目的は何か。
- (2) 局本部と病院管理部門の一体化により、どのような効果を見込んでいるのか。
具体的な数値目標を含めて伺いたい。
- (3) 一体化後、取り組むべき課題は何か。

4 市立病院の経営状況について

- (1) 経営改革計画における市民病院と脳血管医療センターのそれぞれの収支目標はどうか。
- (2) 両病院の収支目標について、これまでの達成状況はどうか。

- (3) 一般会計繰入金はどのような経費に、どのような基準で繰り入れられているのか。
 - (4) 一般会計繰入金は、どのような医療分野に繰り入れられているのか。
 - (5) 持続可能な病院経営を目指して、どのような事に取り組んでいるのか。
 - (6) 設備投資にあたっての基本的な考え方、減価償却に対する考え方はどうか。
 - (7) 積極的な各部門収支の開示に関してどう考えるか。
- (要望) 積極的に情報公開をし、一般会計繰入に関しては、市民から納得の得られる形で進めて頂きたい。

5 公立病院改革プランについて

公立病院改革プランについて、どのような考え方で策定するのか。

- (要望) 今後、更なる経営改革を推し進め、自立的な経営の下、良質な医療を継続して提供していただきたい。

2 大 山 正 治 委 員 (民 ヨ コ)

1 脳血管医療センターの経営状況等について

- (1) 平成17年度、18年度と平成20年1月までの常勤医の数と病床利用率についてどのように推移してきたのか。
- (2) 平成20年4月の常勤医で新たに増加する診療科と医師の確保見込みはどうか。また、病床利用率の目標はどう考えているのか。
- (3) 脳血管医療センターとして、今後、特にどのような診療科の医師を確保する必要があると考えているのか。また、どのくらいの医師が必要と考えているのか。
- (4) 特別室について、その単価と利用状況はどのようになっているか。
- (5) 利用を促進するため、A個室の利用料39,900円を見直すなどの取組をするべきではないのか。
- (6) 29億円の繰り入れについて、どのように考えているのか。
- (7) 病院経営局としても、新たな改善の考え方や、目標を示すべきと考えるが見解を伺いたい。
- (8) 公立病院改革プランの中で、明確な位置づけを行い、患者さんも医療関係者も働いている職員の方々も、そして何よりも、ほとんど脳血管医療センターを利用しないにも関わらず、税金で持って支えている多くの市民からの理解を得られる改革プランを示し、実行していただきたいと考えるが見解を伺いたい。

2 医師をめぐる環境について

(1) 病院のトラブル対応

ア いわゆる、「院内暴力」や「患者・家族からの理不尽と思える要求」と考えられるものとしては、どんな内容のものがあったのか。また、そういった事例は増加傾向にあるのか、市民病院と脳血管医療センターの状況について伺いたい。

イ 「院内暴力」には、どのように対策を取っているのか。今年度に入っては何件位あるのか。対応マニュアルはあるのか。また、「患者・家族からの理

不
思
え
る
要
求
」
に
つ
い
て
は
、
ど
の
よ
う
に
対
応
を
と
っ
て
い
る
の
か
、
市
民
病
院
と
脳
血
管
医
療
セ
ン
タ
ー
の
対
応
に
つ
い
て
伺
い
た
い
。

(2) 医師事務作業補助者（いわゆるクラーク）の採用

ア 受付等の業務を行っているクラークは現在も採用していると聞くが、各病院何人いて、どのような業務を行っているのか。

イ 新たに評価されるクラークとこれまでのクラークの業務とでは、どこが違うのか。採用する予定はないのか。

3 中 島 文 雄 委 員 (共 産 党)

1 医師確保について

- (1) 市立3病院の医師の確保状況はどのようになっているのか。
- (2) 予算で産婦人科医師への分べん手当の創設を提案しているが、その背景及び県内の主な公立病院の動向を伺いたい。
- (3) 脳血管医療センターは、医師確保に苦勞しているようだが、確保対策はどのようにしているのか。
- (4) 24時間体制に応じた医療体制の整備、勤務医の過重労働の軽減、女性医師でも働ける労働条件、職場環境の改善が求められると思うが、その対応について伺いたい。

2 看護師確保について

- (1) 市立3病院の看護師の確保状況はどのようになっているのか。
- (2) 看護師確保については、働き続ける職場環境づくりが全国的にも求められていると考えるが、これに関しての見解について伺いたい。

3 公立病院改革プランの検討について

- (1) 総務省通知の公立病院改革プランの内容及び今後、どのように検討していくのか。
- (2) 医療格差の是正、医師・看護師不足の解決策など、地域医療体制の充実・確保の視点で検討すべきと思うがどうか。
- (3) 公立病院で果たすべき役割との関係で、検討すべきと思うがどうか。
- (4) 市民は救急医療、小児科医療、産科医療、精神医療、高度医療などの拡充を求めているが、市民の願いに逆行しているのではないかと考えるがどうか。
- (5) 国の押しつけではない本市独自のプランを、検討すべきではないかと考えるがどうか。

1 平成20年度予算編成の所感について

- (1) 平成20年度予算は経営改革計画の最終年度の予算となるが、所感を伺いたい。
- (2) 病院事業管理者として、平成20年度予算はどのような点に力を入れて編成したのか。

2 電子カルテシステムの稼働状況について

- (1) システムの運用体制はどのようになっているのか。
- (2) 外来分の電子カルテは5月の稼働を予定しているとのことだが、稼働日は決まっているのか。それに向けての課題は何か。
- (3) 経費面については、当初の予定の範囲内に収まっているのか。
- (4) 新システムの運用を通じて、どういう効果を期待しているのか。

3 市民病院のがん対策について

(1) がん検診センター

ア がん検診センターで行っているがん検診の特徴とはどのようなものか。

イ 多くの市民に受診しやすい取組として行っていることはあるのか。

(要望) 平日に検診を受診できない方にとって、土曜日の検診はニーズが高いものと思うので、現在の第二土曜日だけでなく、市民の方が受診しやすくなる取組を、今後さらに推進していくよう要望する。

ウ がん検診センターでの検診者のうち初回受診者の割合はどのくらいか。

エ 新たな受診者を確保するために、どのような取組を行っていくのか。

(2) PET-CTの本格稼働

ア PET-CTの稼働スケジュールについて伺いたい。

イ すべてのがん診断に対して有効であるのか、PET-CTのがん診断の有効性について伺いたい。

ウ 他の地域医療機関との連携にどう活用していくのか。

(要望) 機器の利点や検査の効果を十分に理解したうえで、習熟度を高め、一日も早くフル稼働し、がん診療の向上に努めていただくよう要望する。

(3) 緩和ケア病棟

ア 市民病院の緩和ケア病棟の整備スケジュール及び整備概要について伺いたい。

イ 平成20年度の整備にかかる予算額について伺いたい。

ウ 市民病院における、緩和ケア病棟の患者の受入についての理念を伺いたい。

エ 緩和ケアに従事する医療従事者の育成に向けた取り組みについて伺いたい。

4 産科医療について

(1) 市民病院及びみなと赤十字病院の状況

ア 平成18年度の市民病院及びみなと赤十字病院における分娩件数について伺いたい。

イ みなと赤十字病院の分べん件数は、市民病院と比べて何故少ないのか。

ウ 産科医療を充実していくための、みなと赤十字病院の取組について伺いたい。

エ 同じく、市民病院の取組についても伺いたい。

(2) 今後の産科医療の確保

ア 地域中核病院の分べん介助料はいくらなのか。

イ 地域中核病院並みの料金設定とする理由について伺いたい。

ウ 時間帯に拘わらず一律の料金設定としているのはなぜか。

エ 料金改定による増収分についての考え方を伺いたい。

オ 本市での産科医療を今後とも安定して提供していくことについての決意を伺いたい。

5 谷地伸次委員（民主党）

1 市民病院における救急医療の取組について

- (1) 市民病院における救急車の受入件数の推移について伺いたい。
- (2) 救急車で搬送された患者さんが入院する割合はどのくらいなのか。
- (3) 救急医療の充実について、これまでどのような取組を行ってきたのか。
- (4) 重症の救急患者を受け入れていくための、市民病院の取組について伺いたい。
- (5) ICUにおける医療従事者の配置はどのようになるのか。
- (6) 看護師を確保できる見込みはあるのか。
- (7) 救急医療に対応した人材をどのように育成していくのか。
- (8) ICUの増床について、いつから10床になるのか。

2 市民病院における地域医療連携の取組について

- (1) 地域医療支援病院としての市民病院のこれまでの取組について伺いたい。
- (2) 市民病院の1日あたりの外来患者数について伺いたい。
- (3) 外来診療待ち時間の現状について伺いたい。
- (4) 待ち時間短縮のための取り組みについて伺いたい。
- (5) 急性期医療を担う市民病院の平均的な入院日数と病床利用率について伺いたい。
- (6) 市民病院では、退院後の転院先の調整など患者さんに対して、どのように支援しているのか。
- (7) 今後の地域医療連携の取組みについて伺いたい。

3 みなと赤十字病院の運営について

- (1) 平成18年度の指定管理業務の点検結果はどうだったのか。
- (2) 一般会計負担額のうち、指定管理者への交付金の当初議会に説明した見込みと実際の負担額の推移はどうか。
- (3) 指定管理業務の点検の結果と、指定管理者への交付金の推移を併せて、病院事業管理者としては、みなと赤十字病院が市立病院としての役割を果たしてい

ると考えているのか。

4 みなと赤十字病院におけるアレルギー疾患医療について

- (1) アレルギーセンターの機能・役割は何か。
- (2) アレルギー疾患に関する情報提供活動については、どのようなことを行っているのか。
- (3) メール配信サービスのシステムはどのようなものなのか。
- (4) 現時点で何件くらいの登録とアンケートに対する回答があるのか。
- (5) 市民の花粉症に関するアンケート結果を、今後どのように活用していくのか。

5 脳血管医療センターの運営状況と平成20年度経営見通しについて

- (1) 脳卒中治療の中心的な診療科である神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科の医師は、平成18年度と比較して、平成19年度はどのような状況となっているか。
 - (2) 脳卒中の患者さんが増加する冬になってからの状況として、昨年度と比較し、救急からの入院患者数、手術件数、他病院からのリハビリ目的等の入院患者数はどのようにになっているか。
 - (3) 脳血管医療センターは、急性期から回復期まで一貫して治療とリハビリテーションを行っているが、どのような効果があるのか。
 - (4) どのような課題があるのか。
 - (5) 平成20年度の経営の見通しとして、どのように考えているのか。
- (要望) 局本部が市民病院に移転した後も、脳血管医療センターをしっかりと支援して頂くことを強く要望する。

1 市立病院の救急医療の状況について

- (1) 市民病院とみなと赤十字病院の、救急車の搬送による患者も含めた受け入れ状況はどうなっているのか。
 - (2) 市立病院の医療スタッフの確保と医師の当直回数などの勤務状況について伺いたい。
 - (3) 今後の市立病院の救急医療の取組についての決意を伺いたい。
- (要望) 今後とも市立病院の救急医療について、しっかりと運営していただくよう要望する。

2 みなと赤十字病院の政策的医療について

(1) 精神科医療

- ア みなと赤十字病院から提供している、精神科救急医療と精神科合併症医療とはどのような内容のものか。
- イ 精神科医療を提供する体制は十分に整っているのか。
- ウ 救急医療と合併症医療の患者さんをこれまでに何人受け入れているのか。

(2) アレルギー疾患医療

- ア アレルギーセンターの患者数とその中のぜん息患者数の推移はどうか。
 - イ 診療内容などについて、横浜市の「アレルギーセンター」として、特徴的な取り組みはあるのか。
 - ウ 平成20年度予算の予算概要にも記載されている、ぜん息患者さんへの携帯電話を活用した遠隔医療の研究とは、どういうシステムなのか。
 - エ これまでの研究経過はどうか。また、どういう患者さんが対象になるのか。
 - オ 今後の研究見通しについてはどうか。
 - カ 携帯電話を使用することで、患者さんにどういうメリットがあるのか。
 - キ 粉じん・花粉・気象観測装置による情報を、ぜん息に関する遠隔医療に活用することはできるのか。
- (要望) 是非、ぜん息に苦しむ市民が広く使用できるように研究を完成させていた

だくよう要望する。

3 脳血管医療センターの回復状況と予防事業等について

- (1) 脳血管医療センターは、「脳卒中のいい病院」(雑誌の記事)の5条件について、どのような状況になっているのか。
 - (2) 市内の病院で5条件を満たしている病院はどのくらいあるのか。
 - (3) t-P Aは、どのような薬か。
 - (4) センターでのt-P Aの使用実績はどのくらいあるのか。
 - (5) 脳血管医療センターとして、t-P Aの使用を増やしていくためにはどのような取組が必要であると考えているのか。
 - (6) 脳血管医療センターの入院患者はどの地域からの入院が多いのか。
 - (7) 今後、脳血管医療センターは、横浜市の脳卒中医療の中でどのような役割を担っていくのか。
 - (8) 平成20年度は、新たな取組としてどのように事業に取り組んでいくのか。
 - (9) 講師を派遣するということだが、どのくらいの規模の集まりに、どのような講師を派遣するのか。
 - (10) 診療科の中で、定数が欠けている診療科は何か。
 - (11) 不足している診療科については、どのような対応をしているのか。
 - (12) 脳血管医療センターの現状について、局長はどのような所感を持っているのか。
- (要望) これからも、救急をはじめ、急性期から回復期までの治療とリハビリテーションを行うとともに、予防事業についても充実を図っていただくよう要望する。

4 市民病院のがん診療の強化について

(1) 腹腔鏡手術

ア 内視鏡センターにおけるがん治療の実績について伺いたい。

イ 腹腔鏡による胃がんの手術は、通常の手術と比べて患者さんの費用負担面でどうなのか。

ウ 腹腔鏡による胃がん手術への取組について伺いたい。

(要望) 市民病院長は、内科部長などを兼任し、11の役職を担っており、従来から課題であると認識しているため、見直されるよう要望する。

(2) 診療科の標榜

ア 診療科標榜を改めることについて、市民病院での検討状況を伺いたい。

イ 診療科標榜を改めることによる効果について伺いたい。

ウ 今後のスケジュールについて伺いたい。